

# 八百屋遊び

誘導保育の主題

麥畑の麥の穂が青空目がけて伸びて行く五月、僕等だつて私達だつて伸びずには居られない五月です。お庭に出れば、つゝじが眞盛りですし、お砂場に注ぐお日様の光は、藤の若葉をすかして美しい緑色です。本當に毎日くが楽しくして仕方のない今日此の頃、花の組では相變らずおまゝ事が大繁盛です。男の子も女の子も一緒になつて色ざりざりな御馳走を作つて呉れます。

盛な需要？の爲、毎日のやうに笥を持つて、おまゝ事材料を求めて歩く子供達、さうした子供達の生活から自然八百屋さんの必要が生じて來ました。さう、お部屋に八百屋さんを作りませう。おまゝ事のお母様やお姉様を買ひにいらつしやる可愛い八百屋さんを作りませう。さう考へつた丈で子供達はもう作り度くてたまらなくなりました。

僕はリンゴ、僕卵、僕は大根作り度いの、私はかぶ、私は苺……その他ささいも、じゃが薯、さつまいも、あんごう豆、隠元豆、ねぎ、玉ねぎ、人参、ごぼう、蓮根、南瓜、

麴町區番町幼稚園 岩 本 三 よ

冬瓜、キャベツ、白菜小松菜、ほうれん草、ミウがらし、たけのこ、なつみかん、みかん、バナナ、柿、すいくわ、ネーブル、さてはしらたき、こんにやくまで、子供達の口からさび出して、御相談會の時先生を吃驚させました。(この中から季節の物丈選んで黒板にかいておきました)

こんなにも氣負立つて誘ひ出されて來た子供達の製作慾を上手に導かなかつたらそれこそ保母の責任です。

翌日は早速、新鮮なあんごう豆を求めて來て子供の机の上に、のせて置きました。(この遊びはあくまで觀察に根柢をおいてし度いと思ひます)茨をむいたり、匂をかいたり、色を眺めたりし乍ら、子供達と一緒に作り方を考へます。

材料の點は保母が深く考慮して十分な注意の下に、ミウへてやる必要がありますが、作り方に至つては、押しつけ主義はやめて、出来る丈、子供達の頭からひき出してやり度いものと思ひます。子供の力を過小視する事は過大視して重荷を負はせるのと同じ位、不可ない事だと思ひます。

子供は時に大人が驚く程な工夫を示す事があります。唯、大人は之を整理してやる必要はあります。……

大體塊形のものには新聞粘土で、その他の物も古裏半紙、古模造紙、包装紙等出来る丈、廢物を利用して作り度いと思ひます。

新聞粘土が乾いて著色します時の嬉しさうな事。出来たものは夫々まごめて箱なごに入れておきます。

だんく美味しさうなお野菜がミョのつて行つて開店の日と思はれるミ一層皆のお仕事も楽しくなります。果物も野菜も使つた後は保姆の家庭に流用出来ますから、一つ残らず、實物を見せて作らせます。

トマトさんのお唱歌を口誦み乍ら、お机の上にお日様に輝くトマトを眺めつゝ粘土をまるめる子供達の頬は、トマトさんに負け無い位よい色です。お天氣の良い日にはお庭でお仕事するのも度々です。

お野菜が八分通り出来上つた頃、お店作りの相談を致します。年長組ですから、子供に、設計させ度いと思ひます。

幼稚園の往復に八百屋さんのお店を觀察して来て、二三日がかりで設計致します。大工さんの大好きな男の人達が大喜びでお店を作つて呉れる事でせう。こゝには先生の手が随分加はりますが、飽く迄子供を主にし度いと思ひます。

正札や包装紙やお皿は女の人達に作つて貰ひます。目方賣

りに必要な秤も作ります。

この製作は相當長い事かゝりますから、興味を中斷させない様、保姆は細心の用意に注意が必要でです。

出来上るのは六月の末頃でせうか。お部屋の明るい所に場所を占めて、皆で美しく飾りませう。

開店の時の子供達の躍り上るやうな喜びが、目に見えるやうです。

然し保姆にミつては、此の製作の過程こそ、無上の喜びであります。

X X X X X  
げに誘導保育……

八百屋遊びは、製作慾を誘ひ、従つて、製作を、又、觀察、工夫創造、持續性、協力の態度、等々々、時にはお唱歌をも、お話をも誘ひ出し、毎日の生活の中に、綜合的に、且つは自然に、導いて行つて呉れます。

(終)